

地域おこし協力隊



活動報告

活動1年目 廣瀬 俊典



Contents

時間：15分ほど

1. 自己紹介。
2. 自身の活動目標。
3. これまでの活動について。
4. 今後私は寒河江で何をしたいか。
5. 締め。

1.自己紹介。



廣瀬 俊典

ひろせ しゅんすけ

さくらんぼ観光課に所属
主に寒河江市観光物産協会で活動中

出身：兵庫県 淡路島

経歴：大阪のデザイン専門学校を卒業後、
イベント関係のデザイン会社に入社。

2.自身の活動目標

1年目

- ・本市の観光資源と物産品の調査
- ・SNSなどを活用した情報発信

2年目

- ・本市の観光資源と物産品の研究、及び開発
- ・関係機関、団体との連携した観光と物産の情報発信

3年目

- ・新たな特産品の開発
- ・付加価値の向上のためのデザイン、情報発信の立案

3. これまでの活動について。

寒河江市の地域おこし協力隊に着任して携わらせていただいた活動。

- ▶ 活動用オリジナル名刺
- ▶ 楽天ふるさと納税 [住吉屋 とうふアイス] バナー
- ▶ 慈恩寺テラス オリジナル饅頭パッケージ 製作中
- ▶ 西村山郡 わんこマップ 製作中
- ▶ 研修や寒河江を学ぶ活動

3. これまでの活動について。

▶ 活動用オリジナル名刺

Point

「さくらんぼ以外の観光物の良さをもっと発掘して、ブランディングしていきたい」
気持ちから寒河江の様々な観光物をデザインに落とし込んでいます。



3. これまでの活動について。

▶ 楽天ふるさと納税 [住吉屋 とうふアイス] バナー



楽天ふるさと 納税サイトにて掲載。

住吉屋さんで人気のとうふソフトクリームを
カップアイスとして皆様のお手元に



参考資料集め

本デザインのテーマに近いデザイン物を収集し、自分のデザインイメージを固めていきます。



Point

製品がアイスということもあり、ひんやり感を感じる色合いやあしらい。
また、住吉屋さんの上品さも書体や余白感から演出しました。



3. これまでの活動について。

▶ 慈恩寺テラス オリジナル饅頭パッケージ

制作途中のものになります。



初案確認

ヒアリングにより若者のウケも良い「モダンレトロ」をベースにデザインしました。

また慈恩寺の十二神将の干支をモチーフにしているため、どちらも「循環」をテーマにしております。

A



B



Point

A 案「夜」のイメージを強く魅せるブラッシュアップすることで、世界観を感じやすく。また全体の奥行きを作ることでデザイン性を高めることにも注力しました。



制作途中のものになります。

3. これまでの活動について。

▶ 西村山郡 わんこマップ

制作途中のものになります。



犬と同伴可能な 施設を探し中

寒河江・朝日町・西川町・大江町・河北町にて
「アクティビティ」「宿泊」「飲食」の3つを軸に
ご連絡をさせていただいています。

3. これまでの活動について。

▶ 研修や寒河江を学ぶ活動



4. 今後私は寒河江で何をしたいか。

外部からの視点



物産品の情報発信

物産品の育成

物産品の販路拡大

各ミッションに対してのアプローチ

1. 物産品の情報発信

ネット上に「山形に行く」から寒河江につながる入り口が少ない。

実際に私が山形へ旅行に行った際、寒河江の情報があまり得られず最終的に明確な行き先もない状態で観光いたしました。

寒河江産
道の駅寒河江（さがえ）チェリーランド



「日本一のさくらんぼの産」と呼ばれる寒河江産。そのさくらんぼを中心に、山形県内各地の四季折々の名産品や工芸品を販売する施設が、道の駅寒河江「チェリーランド」です。日本初のさくらんぼ資料館もあります。名物はアイスクリームで、さくらんぼはもちもち、氷アイス「つや姫」や高級果物を使った手作りアイスを10種類以上用意しています。

【現地スタッフおすすめコメント】
まっりやらばど、お土産やお食事が登場。おすすめは、山形のジェラートとクッキー。

住所	山形県寒河江市大字八幡字八幡919-8
営業時間	施設により異なる
料金	入場無料
アクセス	山形自動車道「寒河江IC」より車で約5分
公式サイト	山形県産の駅寒河江チェリーランドさがえ



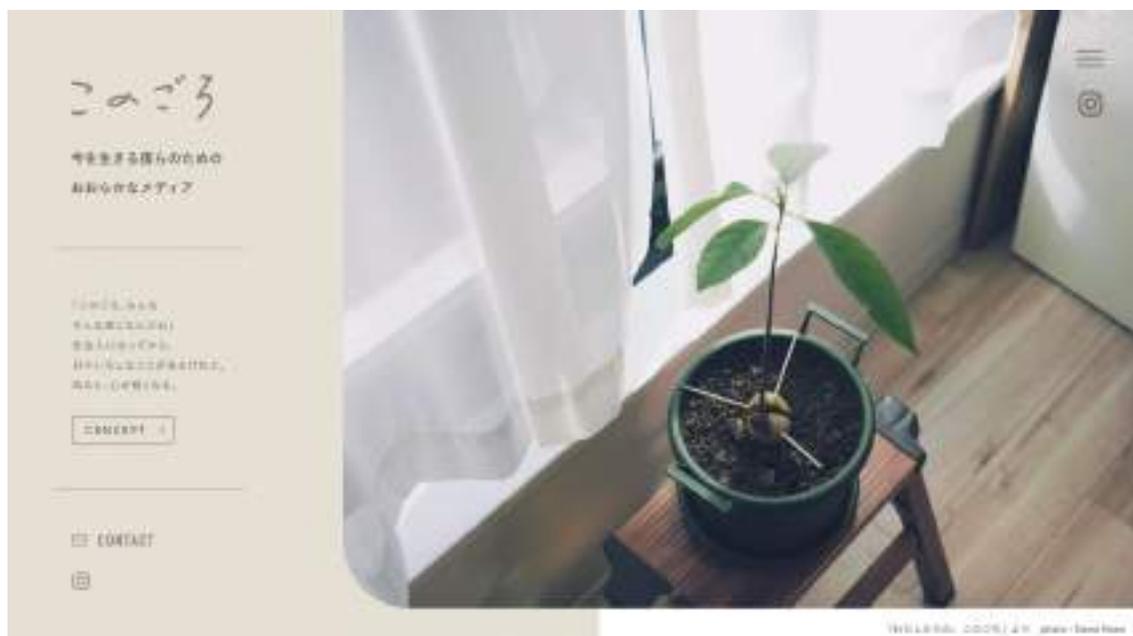
[参照] <https://travel.rakuten.co.jp/mytrip/ranking/spot-yamagata> ・ Instagram

各ミッションに対してのアプローチ

1. 物産品の情報発信

このごろ 20代の若者をターゲットとした、インターネットメディア

地域おこし協力隊の清政さんからご紹介で「このごろ」に
寒河江の物産品等をご紹介させていただくことになりました。

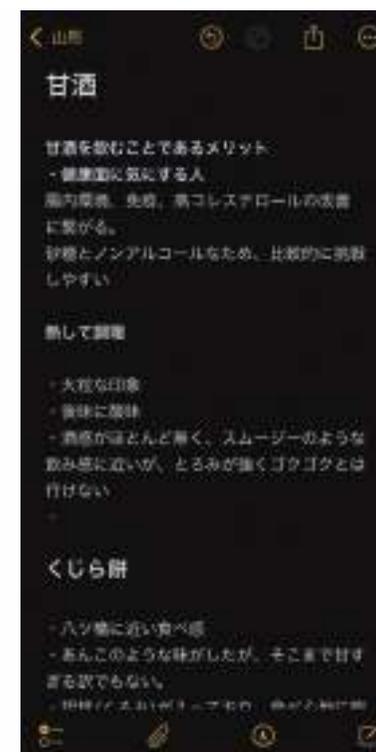


各ミッションに対してのアプローチ

2. 物産品の育成

寒河江の「文化」を感じる

寒河江の食品や歴史を実際に体験し、その経験を元に今後物産品のさらなる磨き上げに繋がりたいと考えております。また体験した際に感じた直感を記録することもあります。



各ミッションに対するアプローチ

3. 物産品の販路拡大

寒河江産直市 in 浦和駅

浦和駅で行われる寒河江産直市に参加します。そこで購入者が商品のどこに惹かれたかや反応を見ること。
また物産市のデザインにも関わらせていただくので、商品がより良く魅せるよう尽力します。



ご清聴ありがとうございました

Thank you